



2023 年度も 皆さまのお力添えのもと
活動することができました ありがとうございます

「キッチンカーで駆けつける 機動性を活かした食の支援活動」

NPO法人アラスキッチンカー協会 理事長 出店事業部長
島 正治 氏

NPO 法人アラスキッチンカー協会は、キッチンカー事業の機動性を活かし、食を中心とした支援活動に取り組んでいます。「子ども支援活動」として、昨年5月の「ピッコロのおうち・たんぼぼ」の開所式やクリスマスなどにクレープやチキンの無償提供や、子どもたちに食を通じた豊かな体験の機会をと、キッチンカーでクレープ作り体験に行ってきました。

また「災害時支援活動」として、以前から防災に関しては力を入れており、東日本大震災、熊本地震、千葉県沖台風被害等の炊き出しや支援物資を送っておりました。今回 1 月に起こった能登半島地震の際には、1 月 18 日に輪島市の公民館にて、けんちん蕎麦と炊き立て海苔ご飯 500 食の炊き出しを行ってまいりました。

毎度そうなのですが、被災地に行きますとニュースでは流れていない事が多くて驚きます。道路の寸断、家屋の倒壊には胸が痛みます。被災者の方々は炊き出しがないとパンかカンパン等の食事になるそうです。被災地は非常に寒く、温かい蕎麦で過ごす喜んで頂けました。シニアの方々が多い印象ですが、小さいお子様から大学生の方まで、多く被災されておりました。

炊き出しは現在も進行中です。東京方面から行くよりも東海方面から向かったほうが距離的に近いので、東海移動販売車組合と連携を取りながら炊き出しを行っております。主な活動場所は輪島市と珠洲市になります。元旦の地震だった為に余計に胸が締め付けられます。被災者の中には旦那様(40代)が助かり、奥様(30代)長男(10代)長女(8歳)次女(5歳)家族4人を失った方もおりました。本当に残酷です。常に防災準備と減災が必要だと強く感じました。

「子ども支援活動」においても、やはり子どもの発育時期には栄養価が高く、美味しい食事が必須ですので、当協会としても課題と捉えております。予算の関係上、毎月、定期的にはできていませんが、予算が許す限りは支援活動を続けて行こうと思っております。子ども達の心のページに残るような活動を続けて行こうと思っております。

支援活動の詳細は

こちらから→

